



理想的な人材

『 あえてその善に矜(ほこ)らず、功を成し、事を立つるありて、しかもあえてその労を伐(いば)らず 』

重宝がられる人材とは、どのような人間か。

よく考えた意見を出し、自分の長所を誇るようなことはせず、大きな仕事を成し遂げても、その功労を鼻にかけるようなことはしない。

これが理想的な人材だといっているのだ。

『 滅私奉公 』という言葉がある。

「私利私欲を捨てて、主人や公のために誠を尽くすこと。」と辞書にはある。

今は見る影もないが、かつて西武王国を築いた西武グループの社是でもあった。

創業者の堤康次郎氏を支えた重鎮たちは、この社是を重んじ、巨大な企業グループを構築した。

今の時代「滅私奉公」って何ですか？という経営者もいる。

部下の実績は自分のもの、自分の失敗は部下の責任。

このような輩が社内に増殖したら、人材も育たないし、業績も上がらない



【 やはり理想の人材とは、一人はみんなのために、みんなは一人のために 】

このような人材でありたいし、このような会社でありたいものだ。

情報提供: 特別情報紙

日本スティーベルがダクトレス熱交換式換気の最新モデル、価格も求めやすく



日本スティーベルは、ダクトレスタイプの第一種全熱交換式換気システム「ツインエアフレッシュLT-50Eco」を発売する。現行の「ツインエアフレッシュLT-50」の基本性能は踏襲しつつ、機能をシンプルにすることで**20%価格**を抑えた。給排気の流れはこうだ。

まず、室内の空気を屋外に排出するために70秒間の排気運転を行い、パイプ内の熱交換素子に室内の熱を蓄熱。そして70秒後にファンが逆回転して屋外の新鮮空気を取り入れる。

この際に先ほど蓄熱した熱と熱交換し(熱交換効率約90%)、室内の温度に近い空気に変換して給気する。

1台で熱交換給排気を実現するため、給排気口を別に設ける必要がなく設置の手間を省略できる。

消費電力は通常風量時で2.1W。本体2台+コントローラー1台のセットで16万円。

情報提供: 新建ハウジング

住宅用太陽光発電買い取り価格 2019年までに24円/kWhへ



再生可能エネルギーの買い取り制度 (FIT) による来年度以降の買い取り価格の検討が始まった。

買い取り価格に関する意見をまとめる国の「調達価格等算定委員会」の今年度初めての会合が10月4日、開かれた。

経済産業省は、価格目標に関する事務局案を提示。

住宅用太陽光の売電価格は、2019年でFIT価格が家庭用電気料金(24円/kWh)並み、2020年以降、早期に電力市場価格(11円/kWh)並みに、非住宅用太陽光は、2020年までに発電コスト14円/kWh、2030年までに同7円/kWhまで引き下げることを目指す。

FITは来年4月1日から新しいルール下で運用される。これまで同委員会では、買い取り価格・期間や買い取り区分に関して検討してきたが、新制度下では「価格目標」「複数年度価格設定」「入札対象電源(電源規模)」「入札実施指針」なども検討の対象になった。

情報提供: 経済産業省